

AI時代のソウダンとは？ — 相談の未来を、みんなで考える —

『AI時代だからこそ問う「対面」の価値』

「その相談、AIに聞けば済むのでは？」——そんな声も聞かれる時代。でも、AIが答えられることと、人にしか担えないことの境目は、どこにあるのでしょうか。

このワークショップでは、実際の相談を、その場でAIに投げてみます。すらすら答えられること、答えは出るけれど心もとないこと、そもそも言葉になっていないこと。AIで埋まらなかった「残り」を、参加者みんなで見つめ、言葉にしていきます。

市民活動に関わる方、日々だれかの相談を受けている方、AIを使いこなしている方、そして「相談ってほどでもないけれど」というモヤモヤを抱えた方。立場を越えて、相談のこれからを一緒に考えてみませんか。



進行・モデレーター

平良 斗星氏（公益財団法人みらいファンド沖縄 副代表）

市民コミュニティ財団の創立以来の理事。市民や企業の社会参画という視点から、地域の課題解決を目指す。「ミマモライド」や「沖縄・離島の子ども派遣基金」等の事業を生み出し、「沖縄式地域円卓会議」は全国的に注目を浴びる。

日時

2026年8月18日（火） 18:30～20:30

会場

なは市民活動支援センター 第1会議室
（那覇市銘苅2-3-1 なは市民協働プラザ2階）

対象

相談窓口を利用してみたい方、伴走支援担当者、
窓口担当者、AIと人の協働に関心のある実践者

定員

16名（申込制）

申込はこちら
定員に達し次第締め切り



主催・問い合わせ先

主 催：なは市民活動支援センター

問合せ先：一般社団法人はた・らく（080-1746-0115／hata.raku.oki@gmail.com）